ライフステージに応じた地方創生の充実・強化

参考資料３

○　2017年度（総合戦略の中間年）のKPIの総点検を踏まえて、地方・東京圏の転出入均衡という基本目標をはじめとする各基本目標の達成を目指して、ライフステージに応じた地方創生の充実・強化に取り組む。

２０１４・２０１５　スタートアップ
- ◎国の総合戦略策定
- ◎地方版総合戦略策定

２０１６　２年目
- ◎地方創生版三本の矢創設
  - ・情報支援
  - ・人材支援
  - ・財政支援

２０１７　中間年
- ◎地方創生の新展開とＫＰＩの総点検
  - ・地方大学等有識者会議
  - ・KPIの検証・改善

２０１８　４年目
- ◎ライフステージに応じた地方創生の充実・強化（「ひと」と「しごと」に焦点）
  - ・キラリと光る地方大学づくり　等
  - ・わくわく地方生活実現政策パッケージ
    - UIJターンによる起業・就業者創出
    - 女性・高齢者等の活躍の推進
    - 地方における外国人材の活用　等

２０１９　５年目
- ◎「まち」にも焦点を当てた政策の検討
- 第１期総合戦略総仕上げ
- ５か年の総点検を経て第２期総合戦略へ

◎各基本目標等の主なＫＰＩ（２０２０年目標）の進捗状況

＜基本目標①＞地方に「しごと」をつくる

- ・若者雇用創出数（地方）：**５年間で30万人**
  - **➡18.4万人創出**（2016年度推計）
- ・女性（25～44歳）の就業率：**77%**
  - 69.5%（2013年）
  - **➡74.3%**（2017年）

＜基本目標②＞地方への新しい「ひと」の流れをつくる

- ・地方・東京圏の**転出入均衡**

東京圏への年間転入超過
- 10万人（2013年）
- **➡ 12万人**（2017年）

＜基本目標③＞結婚・子育ての希望実現

- ・第１子出産前後の女性継続就業率：**55%**
  - 38.0%（2010年）
  - **➡53.1%**（2015年）
- ・週労働時間60時間以上の雇用者割合：**５%に低減**
  - 8.8%（2013年）
  - **➡7.7%**（2017年）

＜基本目標④＞「まち」をつくる

- ・立地適正化計画作成市町村数：**300都市（150都市から変更）**
  - 4都市（2016年9月末）
  - **➡142都市**（2018年3月末）
- ・「小さな拠点」等の地域運営組織形成数：**５千団体（３千団体から変更）**
  - 1,656団体（2014年）
  - **➡4,177団体**（2017年）

まち・ひと・しごと創生基本方針2018 ー主なポイントー

地方創生の基本方針

1．ライフステージに応じた地方創生の充実・強化

⑴ 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 地域中核企業支援等を通じた地域未来投資の促進
- 観光地域づくり・ブランディング等の推進
- 近未来技術等の実装

⑵ 地方への新しいひとの流れをつくる
- キラリと光る地方大学づくり等
- 地方への企業の本社機能移転の促進
- 政府関係機関の地方移転

⑶ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 「地域働き方改革会議」における「働き方改革」の実践等

⑷ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
- エリアマネジメント等によるまちづくりの推進
- 遊休資産等の活用を通じた「稼ぐ力」の向上
- 小さな拠点及び地域運営組織の形成

2．「わくわく地方生活実現政策パッケージ」の策定・実行

⑴ 若者を中心としたUIJターン対策の抜本的強化
- UIJターンによる起業・就業者創出（６年間で６万人）
- 地域おこし協力隊の拡充（６年後に８千人）
- 子供の農山漁村体験の充実

⑵ 女性・高齢者等の活躍による新規就業者の掘り起こし（６年間で24万人）

⑶ 地方における外国人材の活用

3．人生100年時代の視点に立った地方創生

- 「まなび」の充実・学び直しが新たな可能性を生む
- 「稼ぐ力」を磨き上げ、経済的自立を目指す

4．平成32年度以降の次期５か年の「総合戦略」に向けて

- 第１期の総仕上げを目指すとともに、必要な調査･分析を行い、次期「総合戦略」の策定に取り組む

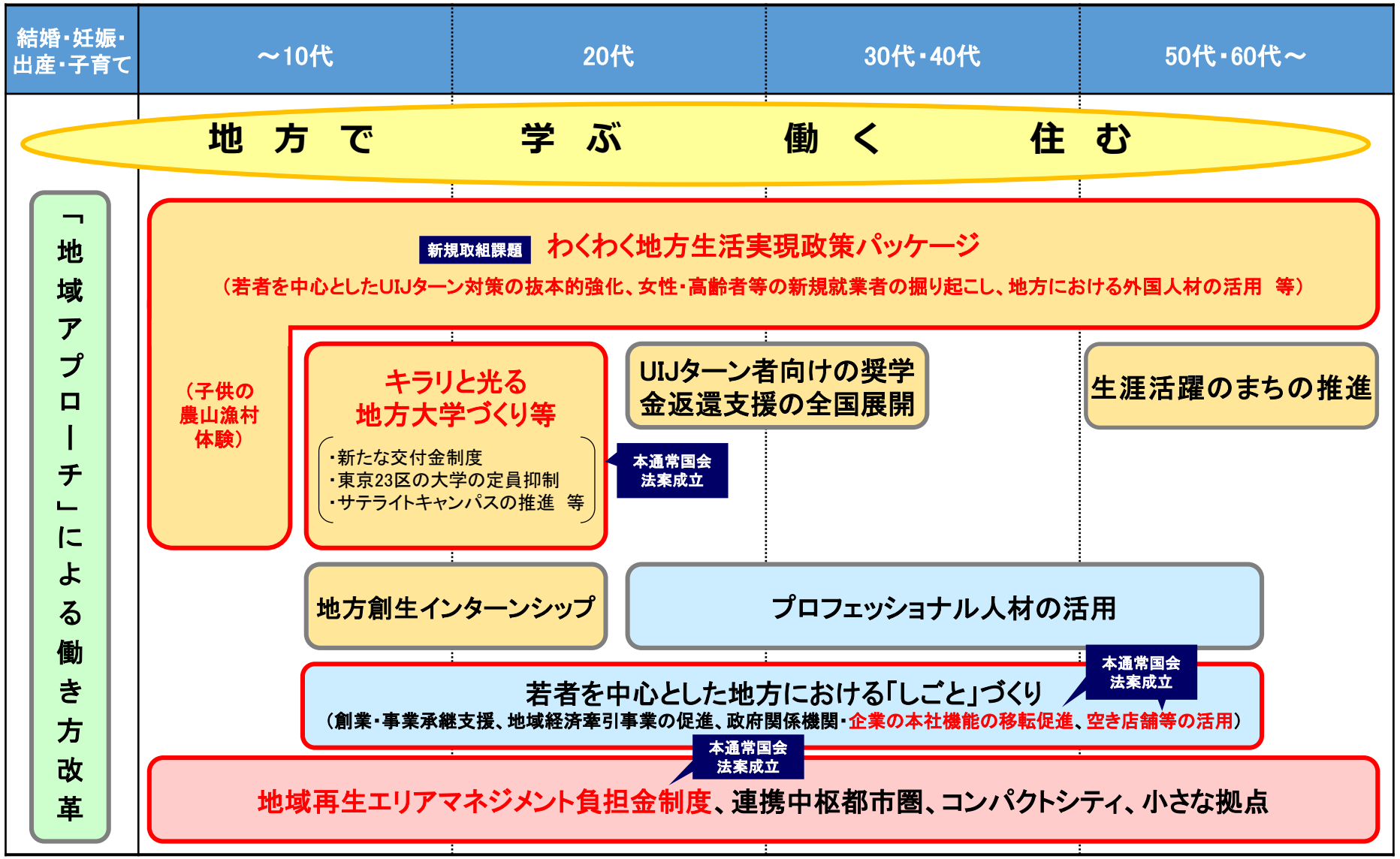
「地方創生版・三本の矢」

「自助の精神」をもって意欲的に取り組む地方公共団体を強力に支援

情報支援の矢	人材支援の矢	財政支援の矢
・地域経済分析システム（RESAS）	・地方創生カレッジ ・地方創生人材支援制度	・地方創生関係交付金 ・企業版ふるさと納税

ライフステージに応じた政策メニューの充実・強化　イメージ図

（注）各施策が主に対象とする年代の位置に整理



（凡例）
- 基本目標①　地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 基本目標②　地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標③　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標④　時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する